

主催・協賛・関連行事ご案内

開催月日	行 事 名〔主催〕 (会場もしくは開催地)	掲載号
2012年		
9/24～26	第59回材料と環境討論会〔腐食防食協会〕(旭川市大雪クリスタルホール)	85巻 6号
27	12-9-1 2012年度第2回インクジェット部会〔本会 関東支部〕(東京塗料会館)	85巻 9号
27～28	第32回農薬製剤・施用法シンポジウム〔日本農薬学会〕(神奈川県立県民ホール)	85巻 5号
28	12-9-2 色材分析講座〔本会 中部支部〕(名古屋市工業研究所)	85巻 9号
10/3	12-9-3 印刷インキアドバンス講座〔本会 関東支部〕(東京塗料会館)	85巻 9号
10	第66回顔料工学講座〔日本顔料技術協会〕(大阪科学技術センター)	85巻 9号
17～19	第62回ネットワークポリマー講演討論会〔合成樹脂工業協会〕(三重大学)	85巻 5号
25～26	第29回製剤と粒子設計シンポジウム〔粉体工学会〕(ホテル日航豊橋)	85巻 7号
25～26	第17回高分子分析討論会〔日本分析化学会〕(名古屋中小企業振興会館)	85巻 6号
25～26	接着信頼性を高めるための表面処理技術セミナー〔日本接着学会〕(名古屋市工業研究所)	85巻 9号
30～11/1	第50回粉体に関する討論会(京都大学)	85巻 6号
11/1～2	第11回食品レオロジー講習会〔日本レオロジー学会〕(東京大学生産技術研究所)	85巻 7号
1～2	第21回ポリマー材料フォーラム〔高分子学会〕(北九州国際会議場)	85巻 9号
1～2	第59回界面科学部会秋季セミナー〔日本油化学会〕(ホテル箱根アカデミー)	85巻 9号
2	12-9-4 中堅技術者のための塗料アドバンス講座〔本会 関東支部〕(東京塗料会館)	85巻 9号
5	第17回コロイド・界面実践講座〔日本化学会〕(関西大学)	85巻 7号
7	第55回スガウエザリング学術講演会〔スガウエザリング技術振興財団〕(アルカディア市ヶ谷)	85巻 8号
9	第211回西山記念技術講座〔日本鉄鋼協会〕(東京電機大学)	85巻 7号
14	12-9-5 第37回顔料物性講座〔本会 関東支部〕(東京塗料会館)	85巻 9号
14	第56回スガウエザリング学術講演会〔スガウエザリング技術振興財団〕(大阪国際会議場)	85巻 8号
16	第212回西山記念技術講座〔日本鉄鋼協会〕(ラソンテ)	85巻 7号
16	進化する部品塗装〔日本塗装技術協会〕(日本ペイント)	85巻 8号
22	12-9-6 色材講演会〔本会 関西支部〕(大阪科学技術センター)	85巻 9号
28～30	国際粉体工業展東京2012〔日本粉体工業技術協会〕(東京ビッグサイト)	85巻 5号
29	12-9-7 色材アドバンスセミナー2012〔本会 中部支部〕(名古屋市工業研究所)	85巻 9号
12/6～7	第32回レオロジー講座〔日本レオロジー学会〕(京都リサーチパーク)	85巻 9号
6～7	12-9-8 第9回色材IT講座〔本会 関東支部〕(日本大学)	85巻 9号
13	第64回白石記念講座〔日本鉄鋼協会〕(早稲田大学)	85巻 7号
2013年		
1/18	12-9-9 第22回顔料分散講座〔本会 関東支部〕(東京塗料会館)	85巻 9号
3/7	第28回塗料・塗装研究発表会〔日本塗装技術協会〕(工学院大学)	85巻 8号

主 催 行 事

参加される方はI-5頁の申込書をご利用ください。

番号 12-9-1

2012年度
第2回インクジェット部会

今年5月、世界最大の印刷・メディア産業展「drupa2012」が開催され、多種多様なデジタル印刷機が出展されました。本年度第2回目のII部会では、第一部として、最新のデジタル印刷機器向けの印刷用紙の最新動向について、三菱製紙(株)の木村様よりご講演いただきます。

また、インクジェット技術の用途拡大と並行し、関連する測定技術、現象解析技術にもさまざまな検討が行われています。今部会第二部では、(株)リコーの瀬尾様より、レーザードップラーを利用した解析方法につきご講演いただきます。

インクジェットの新しいトレンドを学ぶ機会として、是非ご参加ください。

主催 一般社団法人 色材協会 関東支部 インクジェット部会

日時 9月27日(木) 15:00~17:00

懇親会 17:15~18:30

場所 東京塗料会館 地下会議室

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8

(TEL 03-3443-2811 E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp)

演題・講師

第一部

15:00~15:50

三菱製紙(株) 木村篤樹

『drupa2012に見る産業用デジタルプレス向けメディアの動向』

第二部

16:00~16:50

(株)リコー 瀬尾 学

『レーザードップラー振動計によるインク乾燥過程の計測』

17:15~18:30

懇親会

参加費 2,000円 当日頂戴いたします。

申込締切 定員(80名)になり次第受付を終了させていただきます。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記して、FAXをお送りいただくか、E-mailにてお申し込みください。

※部会・懇親会ともに参加証は発行いたしませんので、受付にて勤務先名・お名前をお申し付けください。(受付完了の連絡はメールにていたします。)

申込先 一般社団法人 色材協会 関東支部

FAX 03-3443-3699

E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp

番号 12-9-2

色材分析講座

このたび、色材協会中部支部では「色材分析講座」を企画いたしました。

この企画の目的は色・外観の測定法や色材開発における機器測定についての基礎的事項から分析事例を知っていただくことであり、下記の6講演を予定いたしております。色材や色材の分析法に興味をもっていただく機会としてお役に立つものと存じます。

多数の方のご参加をお待ちしております。

主催 一般社団法人 色材協会 中部支部

協賛 日本化学会、中部塗装技術研究会、東海化学工業会、高分子学会東海支部、愛知工研協会、日本塗装技術協会、日本顔料技術協会、表面技術協会中部支部、日本油化学会東海支部、日本接着学会中部支部、日本色彩学会東海支部、名古屋テキスタイル研究会、日本印刷学会中部支部、画像技術研究会、中部デザイン協会、中部プラスチック技術振興会

日時 9月28日(金) 13:00~16:50

場所 名古屋市工業研究所 電子技術総合センター1F 視聴覚室

名古屋市熱田区六番3丁目4-41

(地下鉄、市バス、「六番町」下車、南西へ徒歩約2分)

演題・講師

13:05~13:40

色と光沢について

日本電色工業(株) 西岡新也

13:40~14:15

塗料業界における表面観察の実例

(株)キーエンス 福田健太郎

14:15~14:50

FT-IRとラマンを用いた分析

日本分光(株) 渡邊啓祐

14:50~15:00

休憩

15:00~15:35

広がる固体NMRの世界 (株)JEOL RESONANCE 朝倉克夫

15:35~16:10

塗料の有機組成分析

(株)東レリサーチセンター 日下田 成

16:10~16:45

テラヘルツ分光における物性評価 大塚電子(株) 黒田秀樹

参加費 会員5,000円、非会員7,000円(予稿集、消費税込)

定員 60名

申込方法 申込書(I-5頁)に所定事項をご記入のうえ、郵送、FAX、または下記ホームページからお申し込みください。参加費は、9月20日(木)までに、みずほ銀行名古屋支店 普通預金口座No.1106150 色材協会中部支部宛へ振込み、または、現金書留にてご送金ください。

申込先 〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目35番18号

一光大須ビル7F

中部科学技術センター内 色材協会中部支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469

学協会事務局 <http://www.c-goudou.org/>

番号 12-9-3 **印刷インキアドバンス講座**
—印刷インキ技術の未来を考える—

デフレ経済の長期化、情報のIT化、人口減少など、日本の印刷産業を取り巻く環境は大変に厳しいものがあります。しかし、視点を変えれば、印刷技術を応用した新しい分野への展開も進んでいます。電子材料分野では、電子配線を安価に大量生産する方式として『プリンタブルエレクトロニクス』が注目され、その成長が見込まれています。現在でも、電子配線基板作製にスクリーン印刷が多く使われていますが、将来は、グラビア印刷やフレキソ印刷によってフレキシブル配線回路が安価で大量生産され、電子ペーパーやフィルム太陽電池などの普及に一役買うことになると予測されます。

今回のアドバンス講座では、これからの製品開発の指針となるような、新しい技術や情報を中心とした講演テーマを選定しました。また、最後に意見交換の場も設けています。ぜひ多くの方にご参加いただき、仕事のお役に立てていただきたいと思います。

主催 一般社団法人 色材協会 関東支部
協賛 紙パルプ技術協会、高分子学会、日本化学会、日本印刷学会
日時 10月3日(水) 9:20~17:00
場所 東京塗料会館
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 TEL 03-3443-2811
JR山手線・埼京線、東京メトロ日比谷線、「恵比寿」駅より徒歩12~15分(受講券に案内図印刷)

演題・講師

9:30~10:40

1. ビーズミルによるナノ分散技術
アイメックス(株) 技術部兼研究開発センター
所長 五十嵐章裕

10:50~12:00

2. バリア性発現のメカニズムと応用
明治大学理工学部応用化学科 教授 永井一清

13:10~14:20

3. フラワーレン素材ソフトマテリアル、次世代発光材料の開発
(独)物質・材料研究機構先端の共通技術部門
高分子材料ユニット有機材料グループ 主幹研究員
中西尚志

14:30~15:40

4. プリンタブルエレクトロニクスの現状と未来展望
山形大学有機エレクトロニクス研究センター
産学連携教授 寺内健一

16:00~17:00

5. 討論会(印刷インキ技術の未来を考える)
司会 千葉大学大学院研究科 准教授 小関健一

受講料(テキスト・消費税込) 会員・協賛学協会会員とも
19,000円、会員外29,000円

申込締切 10月2日(火)ただし、定員(60名)になり次第締切らせていただきます。お早目にお申し込みください。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記して、FAXまたはE-mailにてお送りください。受講券をお送りします。受講料は①銀行振込②郵便振替のいずれかで10月3日(水)までにお振込みください。

①銀行口座：三菱東京UFJ銀行恵比寿支店 普通預金
No.1547898 (社)色材協会

②郵便振替口座：00120-7-76423 (社)色材協会

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号 (社)色材協会
TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699
E-mail: sky@minos.ocn.ne.jp

番号 12-9-4 **中堅技術者のための**
塗料アドバンス講座

塗料技術や塗装技術は日々進化し、そのスピードも速くなっております。日頃実務にお忙しい中堅技術者の方々のために、開発にすぐ役立つ知識やスキルアップに繋がる知識を得たり、さらにはdiscussionを通じて情報交換などを活発に行える場として、塗料アドバンス講座を企画いたしました。明日の技術開発や新製品の開発にきっとお役にたてる講座であると確信しております。多くの方々にご参加いただきますようご案内申し上げます。

主催 一般社団法人 色材協会 関東支部 塗料部会
協賛 (社)日本塗料工業会、関東塗料工業組合、東京塗料商業協同組合、日本塗装技術協会、(社)高分子学会、(社)日本化学会、(社)自動車技術会、日本顔料技術協会、(社)表面技術協会、日本建築仕上学会

日時 11月2日(金) 13:20~16:50

場所 東京塗料会館
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 TEL 03-3443-2811
JR山手線・埼京線、東京メトロ日比谷線、「恵比寿」駅より徒歩12~15分(受講券に案内図印刷)

演題・講師

13:20~13:30

講座ガイダンス 講座実行委員長 (株)A&D 加川邦博

13:30~14:30

1) 添加剤の選択と使い方

〔概要〕塗料用添加剤の選定には、①酸価、②アミン価、③溶解性パラメーター(SP値)、④表面張力、⑤分子量などの特数値を知ることが重要である。本講演では、各種添加剤における特数値の使い方について紹介する。

〔Key words〕塗料、添加剤、溶解性パラメーター、表面張力
関西ペイント(株) SD研究所 部長 古澤 智

14:40~15:40

2) 高温ナノインデンテーション法による高分子材料の粘弾性評価

〔概要〕ナノインデンテーション法による粘弾性の計測原理をわかりやすく説明し、実用的最先端の高温ナノ粘弾性定量評価技術の開発を解説しながら、高分子材料と薄膜への応用例を紹介する。

〔Key words〕ナノインデンテーション法、ナノ粘弾性、高温計測、環境制御
(株)日産アーク 先端技術開発部 部長 叶 際平

15:50~16:50

3) (実践研究報告) 塗装技術に寄与するナノ粒子の活用

〔概要〕微粒子BaSO₄の分散液を調製し、木材木地に数μm程度で付着させたり、着色剤に混合して使用したり、あるいは中塗り塗料に混合して使用したところ、さまざまな塗装効果が得られた。これらの実践内容を報告する。

〔Key words〕微粒子BaSO₄、均一着色、木目強調効果、平滑化、ノンサンディング仕上げ

職業能力開発総合大学校
基盤ものづくり系(木工・塗装ユニット)
准教授 坪田 実

受講料(テキスト・消費税込) 会員10,000円、会員外19,000円(協賛学協会会員は会員扱いとします)

*当日までにご入会いただければ会員扱いになります。

正会員：年会費9,600円

申込締切 定員(60名)になり次第締め切らせていただきます。お早目にお申し込みください。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記してFAXでお送りください(同項目を記入し、E-mailでの申し込み可)。受講料は請求書到着後に①郵便振替②銀行振込のいずれかでお振込みください。(郵便振替口座：00120-7-76423 銀行口座：三菱東京UFJ銀行恵比寿支店 普通預金

No.1547898 (社)色材協会
申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号 (社)色材協会
TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699
E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp

番号 12-9-5

第37回顔料物性講座 環境を改善する機能性色材

循環型経済社会の構築のため、さまざまな環境ビジネスが提案されています。そこで、今回の顔料物性講座では、「環境を改善する機能性色材」をテーマとし、放射線セシウムの汚染対策としての紺青、色素一層状化合物複合体の光化学的性質、構造色を示すソフトマテリアル、無機有機ハイブリッド顔料、高輝度蓄光性蛍光体をピックアップしました。各講師の方々はこの分野で活躍されている研究者で、一歩踏み込んだ技術性の高い講演を基礎から応用までわかりやすく講演していただき、環境ビジネスにつながる技術のヒントが得られるものと確信しております。ぜひ、ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

主催 一般社団法人 色材協会 関東支部 顔料部会、顔料物性研究会

協賛 顔料技術研究会、日本化学会、高分子学会、化成工業協会、日本無機薬品協会、有機合成化学協会、日本ゴム協会、日本塗料工業会、日本油化学会、表面技術協会、日本色彩学会、日本印刷学会、日本材料学会、日本塗装技術協会、日本防錆技術協会、腐食防食協会、印刷インキワニス工業会、日本木材学会、電気化学会、日本塗料検査協会、日本分析化学会、日本レオロジー学会、日本セラミックス協会、日本粉体工業技術協会、日本画像学会、日本写真学会

日時 11月14日(水) 9:40~16:20

場所 東京塗料会館
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 TEL 03-3443-2811
JR山手線・埼京線、東京メトロ日比谷線、「恵比寿」駅より徒歩12~15分(受講券に案内図印刷)

演題・講師 (各講演時間には質疑応答10分が含まれている)
9:40~10:40

放射性セシウム汚染対策への紺青(プルシアンブルー)の利用

大日精工工業(株)顔料事業部開発室 室長 服部俊雄
2011年3月に発生した東日本大震災によって引き起こされた福島第一原子力発電所の事故により大量の放射性セシウムが環境中に放出された。とくに放射性セシウムCs137は半減期が約30年と長く、その対策が急務となっている。無機顔料の一つである紺青(プルシアンブルー)は、セシウムを選択的に吸着する性質を有することから、放射性セシウム汚染対策としていろいろな方面での利用が期待されている。本講演では、回収(除染)から農畜産物への移行低減対策までの幅広い分野への展開について解説を行う。

10:50~11:50

色素一層状化合物複合体

首都大学東京大学院都市環境科学研究科分子応用化学域 准教授 高木慎介
固体表面上の色素は、その集合構造に応じて興味深い光化学的性質を示す。本講演では、粘土鉱物上におけるポルフィリン色素の光化学的性質について概説する。

13:00~14:00

白い粒子と黒い粒子からカラフルな色をつくる

名古屋大学大学院工学研究科 准教授 竹岡敬和
粒径の揃ったサブミクロンサイズの白色微粒子と黒色微粒子のアモルファス集合体が、さまざまな色の顔料となることがわかったので、その調製方法および物性を発表する。

14:10~15:10

無機有機ハイブリッド顔料

戸田工業(株)創造本部技術開発グループ
グループリーダー 林 一之

既存の無機顔料、および既存の有機顔料を複合化することにより、双方の利点を併せもつコアシェル型ハイブリッド顔料を開発することができた。着色剤としてのハイブリッド顔料は、着色力、彩度などにおいて優れた性能をもたせることができ、各種工業用途に適用可能である。

15:20~16:20

蓄光性蛍光体

(株)ネモト・ルミマテリアル蓄光材事業部
取締役 青木康充

蓄光性蛍光体の歴史と特性および発光メカニズムについて説明し、最近の応用事例などを紹介する。

参加費(テキスト、消費税込) 会員・協賛学協会会員とも19,000円、会員外29,000円、学生3,000円

テキストの事前配布をご希望の場合は、申込書備考欄に「テキスト事前配布希望」と記入のうえ送料500円を受講料と併せてご送金ください。

申込締切 定員(100名)になり次第締め切りますので、お早目にお申し込みください。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記してFAXでお送りください(同項目を記入しE-mailでの申し込みも可)。申込書に記入いただいた個人情報につきましては、(社)色材協会事務局にて厳重に管理いたします。

受講料は請求書到着後に①銀行振込②郵便振替のいずれかで講座当日までにお振込みください。

銀行口座:三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 普通預金 No.1547898 郵便振替口座:00120-7-76423 (社)色材協会

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号 (社)色材協会

TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699

E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp

番号 12-9-6

色材講演会 —色材における表面と 界面の評価・制御・機能化—

色材産業においては、コーティングをはじめとして、物質の表面や物質と物質の界面を理解し、制御と機能化に結びつけることは非常に重要です。今回の色材講演会では、表面や界面に関する基本的な概念を平易に解説するとともに、測定法や機能化のトピックスを紹介します。多くの皆様にご来聴くださいますよう、ご案内申し上げます。

主催 一般社団法人 色材協会 関西支部

協賛(申請中) 応用物理学会、高分子学会、日本化学会、日本画像学会、日本顔料技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会関西支部、日本セラミックス協会、日本塗装技術協会、日本塗料工業会、日本粉体工業技術協会、日本防錆技術協会、日本油化学会、表面技術協会、腐食防食協会

日時 11月22日(木) 9:30~16:20

場所 大阪科学技術センター(8階)小ホール

大阪市西区靱本町1-8-4 TEL 06-6443-5324

地下鉄四ツ橋線本町駅下車、28号出口より四ツ橋筋を北へ5分、または肥後橋駅下車7号出口より南へ8分。地下鉄御堂筋線本町駅下車、2号出口より西へ徒歩8分。靱公園北側。

演題・講師

9:30~11:00

易しい溶解性パラメーター(SP)と表面張力

1. 分子間力 2. 混ざる・混ざらない 3. 溶剤選択 4. 三次元

小林分散技研 代表、
東京理科大学理工学部 客員教授 小林敏勝

11：10～12：10

スラリー流動性の評価と制御

- 1. Cassonプロット
- 2. チクソトロピー
- 3. フロキュレーション
- 4. 分散剤

日本ペイント(株) R&D本部 基盤研究所 江端公章

13：10～14：40

表面グラフトによる粒子の機能化

- 1. グラフト重合
- 2. 抗菌シリカ
- 3. 難燃性
- 4. 生物忌避性
- 5. 分散性制御

新潟大学工学部 工学部長・教授 坪川紀夫

14：50～16：20

表面・界面の機器分析

- 1. X線光電子分光法 (XPS)
- 2. 飛行時間型二次イオン質量分析法 (TOF-SIMS)
- 3. 走査型プローブ顕微鏡 (SPM)
- 4. 深さ方向分析
- 5. 界面評価と接着性

(株)東レリサーチセンター 表面解析研究部
部長 中川善嗣

受講料 会員 (協賛学協会員共) 20,000円, 会員外25,000円, 学生3,000円 (テキスト代, 消費税含む)

定員 50名

申込締切 11月16日 (金) (定員になり次第締め切らせていただきます。)

申込方法 申込書 (I-5頁) にご記入のうえ, FAXでお申し込みください (同項目を記入し, E-mailでの申し込み可)。

受講料は①銀行振込②郵便振替のいずれかでお振込ください。

①銀行口座：三菱東京UFJ銀行 船場中央支店 普通預金 No.0171831, ②郵便振替口座：No.00910-9-59939, 一般社団法人色材協会関西支部

申込先 〒530-0044 大阪市北区東天満 1-9-10 大阪塗料ビル2階 一般社団法人色材協会 関西支部

TEL 06-6356-0700 FAX 06-6356-0711

E-mail: shikizai@viola.ocn.ne.jp

一般社団法人 色材協会 主催行事 参加申込書		<input type="checkbox"/> 関東支部 FAX 03-3443-3699 <input type="checkbox"/> 関西支部 FAX 06-6356-0711 <input type="checkbox"/> 中部支部 FAX 052-204-1469
行事名 番号 <input style="width: 50px;" type="text"/> - <input style="width: 50px;" type="text"/>		所属学協会名 (会員番号:)
参加者名		会員 (<small>維持会員企業の社員を含みます</small>) ・ 非会員 ・ 学生
勤務先 (所属部課名)		
所在地 (〒)		
TEL	FAX	E-mail
備考欄		
払込方法 (請求書: <input type="checkbox"/> 要, <input type="checkbox"/> 不要) 円を下記要領で振り込みます (振込予定 月 日)		
主催支部 名 義	関東支部 (社)色材協会 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替	関西支部 (社)色材協会 関西支部 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替
中部支部 色材協会 中部支部 <input type="checkbox"/> 銀行振込		
※銀行・郵便振替の領収証をもって本会からの領収証にかえさせていただきます。 ※振込手数料は振込人にてご負担いただきますようお願いいたします。		
今後開催される色材協会主催講座についてE-mailでの案内を希望しますか (希望する ・ 希望しない)		

(この個人情報は、色材協会が管理し、色材協会の行事案内以外には使用しません)

番号 12-9-7 色材アドバンスセミナー2012

—自然の叡智に学ぶ
バイオメテック材料技術—

生き物は進化の過程を通じ過酷な環境条件やその激変に対応する合理的な機能や仕組みを獲得しています。生物を模倣するバイオメテック材料開発も新たな発展段階を迎え、製品化の例も見られます。欧米に続き中国でも取り組みが活発であると伝えられていますが我が国では産・官・学の取り組みは積極性に欠け連携にも問題があるようです。資源・環境・エネルギーなどの制約が多くなった今日、生物の獲得した合理的なデザインをヒントに多様な製品の開発を進めることは非常に有益なことと考え、本セミナーを開催する次第です。多くの方々のご参加を期待します。

主催 一般社団法人色材協会 中部支部

協賛 日本化学会東海支部、東海化学工業会、高分子学会東海支部、日本接着学会東海支部、日本油化学会東海支部、名古屋産業振興公社、愛知工研協会、日本塗料工業会、中部塗装技術研究会、名古屋テキスタイル研究会、表面技術協会中部支部、化学工学会東海支部、電気化学会東海支部、日本分析学会中部支部、有機合成化学協会東海支部、繊維学会東海支部、日本繊維機械学会東海支部、自動車技術会中部支部

日時 11月29日(木) 13:00~17:00 (講演終了後、交流会 ~18:00)

場所 名古屋市工業研究所 第1会議室(管理棟3F) 名古屋市熱田区六番3丁目4-41

地下鉄、市バス、「六番町」下車、南西へ徒歩約2分。

演題・講師

1. 生物模倣技術から生物規範工学へ

13:05~14:15

東北大学 原子分子材料科学高等研究機構
教授 下村政嗣

2. マグロの皮膚に学ぶ低摩擦船底塗料

14:15~15:00

日本ペイントマリン(株) 技術本部 本部長 山盛直樹

3. 蜂の複眼や魚群の習性研究により開発したぶつからないロボットカー

15:15~16:00

日産自動車(株) 総合研究所

モビリティ・サービス研究所 主担 安藤敏之

4. モルフォ蝶を模倣した光学干渉繊維とフィルムの開発

16:00~16:45

帝人(株) 構造解析研究所 研究課長 広瀬治子

参加費 会員・協賛団体6,000円、一般9,000円、学生2,000円(テキスト代、消費税含む)

技術交流会費(講師を囲んで) 会員無料、協賛団体・一般500円(管理棟2F、交流フロアー 17:00~18:00)

定員 先着順80名

申込方法 11月22日(木)までに(I-5頁)申込書を郵送またはFAX、E-mailでお送りください。または下記ホームページからお申込みください。中部科学技術センター 学協会事務局 <http://www.c-goudou.org/>

参加費は振込みまたは現金書留にてご送金ください。

(振込先) みずほ銀行 名古屋支店 普通預金口座 No.1106150 色材協会中部支部

(現金送金先) 下記申込先と同じ送付先まで現金書留にてご送金ください。

申込先 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 中部科学技術センター内色材協会中部支部

TEL 052-231-3070 FAX 052-204-1469

E-mail: k.maki@c-goudou.org

番号 12-9-8

第9回色材IT講座
「成長し続けるインクジェット技術」
~デジタル印刷と
プリンテッドエレクトロニクスの発展~

第9回IT講座では、『成長し続けるインクジェット技術~デジタル印刷とプリンテッドエレクトロニクスの発展~』をテーマに、商業印刷、エレクトロニクス分野におけるインクジェット技術の活用をはじめとして、毎年、聴講者の方々から好評なインクジェットヘッド技術、材料技術、注目のインクジェット応用技術など、多方面で活躍されている講師の方々を招聘し、講義をいただくことになりました。

今年もインクジェット最新技術を紹介する本講座への皆様の御参加をお待ちしております。

主催 一般社団法人色材協会 関東支部

協賛(予定) (社)日本化学会、(社)高分子学会、(社)日本印刷学会、日本顔料技術協会、紙パルプ技術協会、(社)日本写真学会、日本画像学会、(社)エレクトロニクス実装学会、化成品工業協会

日時 12月6日(木)、7日(金)

会場 日本大学理工学部(駿河台キャンパス)1号館6階 CSTホール 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

[交通] JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分、

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分(受講券に案内図印刷)

演題・講師

12月6日(木)

9:20~9:30 開会挨拶 講師紹介

9:30~10:20

「無鉛圧電体インクジェットヘッド」

法政大学 理工学部 電気電子工学科
客員教授 田沼千秋氏

10:35~11:25

「インクジェットプリント技術を用いた化学・バイオセンサー」

慶應義塾大学 理工学部
准教授 チッターリオ ダニエル氏

11:40~12:30

「インクジェットの出版における活用の可能性」

(株)講談社 業務局長 梅崎健次郎氏

13:40~14:30

「Application of page wide thermal inkjet arrays to commercial printing applications」

Vice President of Engineering, Memjet Labels
Mr. Thomas Roetker

14:45~15:35

「単分散金属酸化物ナノ粒子の新合成法と最先端デバイスへの応用」

東北大学 多元物質科学研究所 教授 村松淳司氏

16:00~16:50

「【仮題】HPの屋外大判インクジェットプリンタ技術」

講師交渉中

17:00~19:00 懇親会

12月7日(金)

8:50~9:00 挨拶 講師紹介

9:00~9:50

「フレスコ画の原理を応用したインクジェット記録用媒体」
(株)トクヤマ セメント開発グループ主任 谷地明幸氏

10:05~10:55 講演内容および講師交渉中

11:10~12:00

「インクジェット着滴解析装置DropMeasureによる浸透、乾燥現象の解析」

(株)マイクロジェット 代表取締役 山口修一氏

13:10～14:00

「Jet Press 720における材料開発について」

富士フイルム(株) 研究担当部長 大関智之氏

14:15～15:05

「プリンテッド・エレクトロニクスとセルロースナノファイバー」

大阪大学産業科学研究所 准教授 能木雅也氏

15:30～16:20

「PZT代替鉛フリー圧電材料」

(株)リコー GJ開発本部 GH開発室

シニアスペシャリスト 秋山善一氏

受講料 主催・協賛学協会会員29,000円、会員外39,000円、学生6,000円、学生会員外9,000円(聴講料、テキスト代、懇親会費含む・消費税込)

※11月7日までにお申し込みの方には以下の早割りを適用させていただきます。

早期申込み受講料割引 会員25,000円、会員外35,000円、学生(会員)4,000円、学生(会員外)7,000円

申込締切 定員(300名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記してFAXまたはE-mailでお申し込みください。

申込書に記入いただいた個人情報につきましては、(社)色材協会事務局にて厳重に管理いたします。

受講料は請求書到着後に①銀行振込②郵便振替のいずれかで講座当日までにお振り込みください。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 普通預金 No.1547898 郵便口座：00120-7-76423 (社)色材協会

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号 (社)色材協会

TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699

E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp

番号 12-9-9

第22回顔料分散講座

色材工業において「顔料分散」は永遠のテーマ。このテーマを基礎から応用まで、最新技術に触れながら、わかりやすく解説する本講座は毎年、多くの方々からご好評をいただいております。今年も「分散の基礎」、「表面処理」そして「塗料」、「プラスチック」、「IJインキ」の各分野でご活躍の方々に講師を担当していただきます。

本講座により「顔料分散」についての考えから、実用的な理解を深めていただけます。

主催 一般社団法人色材協会 関東支部

協賛(予定) 顔料技術研究会、日本顔料技術協会、日本化学会、高分子学会、日本無機薬品協会、有機合成化学協会、日本ゴム協会、日本塗料工業会、表面技術協会、日本色彩学会、日本印刷学会、日本材料学会、日本塗装技術協会、腐食防食協会、日本木材学会、日本塗料検査協会、日本レオロジー学会、日本セラミックス協会、日本粉体工業技術協会、日本画像学会、日本写真学会、電気化

学会

日時 平成25年1月18日(金)9時00分～17時00分(受付開始時刻：8時30分より)

会場 東京塗料会館 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 TEL 03-3443-2811

JR山手線・埼京線、地下鉄日比谷線・「恵比寿」駅より徒歩12～15分(受講券に案内図印刷)

演題・講師

9:00～10:30

顔料分散の基礎－顔料分散の基礎理論と分散向上の具体的な手法－

DIC(株) 精密合成技術本部 色材開発技術グループ
主任研究員 清都育郎

10:40～12:00

顔料の表面処理－銅フタロシアニンブルー顔料を例に、粒子表面の処理が、分散性、分散安定性に与える影響－

大日精化工業(株) 顔料事業部 技術本部 機能材開発室
室長 杉浦正樹

13:10～14:20

塗料における顔料分散－顔料の分散性と塗料品質(色調)、分散性評価の方法－

関西ペイント(株) CM研究所 第2研究部
課長 神守 功

14:30～15:40

プラスチックにおける顔料分散－顔料分散と色ブレ－

大日精化工業(株) 合樹・着材第二技術本部
部長 齊藤富夫

15:50～17:00

IJインクに要求される顔料特性と分散体設計－顔料処理・分散・インク化の工程制御－

インクジェットコンサルタント 野口弘道

受講料 会員(協賛学協会会員共)19,000円、会員外29,000円、学生3,000円(テキスト共、消費税込)

※テキストの事前配布をご希望の場合は、申込書(I-5頁)に記入のうえ送料500円を受講料と併せてご送金ください(テキストの事前配布の申し込みは、都合により1月7日締切とさせていただきます)。

申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

申込方法 申込書(I-5頁)に所定の事項を明記してFAXでお送りください。

申込書に記入いただいた個人情報につきましては、(社)色材協会事務局にて厳重に管理いたします。

受講料は①銀行振込 ②郵便振替のいずれかで1月17日までにお振り込みください。

(銀行口座：三菱東京UFJ銀行 恵比寿支店 普通預金 No.1547898 郵便振替口座：00120-7-76423 (社)色材協会)

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号 (社)色材協会

TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699

E-mail: shikizai@poem.ocn.ne.jp

